

科目名 (英)	運動学 I Kinematics I	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	中 詩帆
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 運動学 I では前期の解剖学の講義で学んだ筋の走行や支配神経について模型や人体をつかって復習する。また、2年次の実技に繋がるように触診しながら筋の位置と関節の動きや筋の作用を合わせて学習する。 実務実績 中 鍼灸指圧治療院ほぐしやなどでの勤務、患者の受付、診察から治療までの業務を行う 資 格 はり師・きゅう師、あん摩マッサージ指圧師							
【到達目標】 ①関節の構造、動きを理解する。筋肉の起始、停止、支配神経を理解し覚える、関節動作を理解する。 ②指示された筋の走行を起始停止を含めて描く事ができる。 ③指示された筋の作用を動作で示す事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	殿部の筋の位置を確認し、作用を確認する。
2回目	殿部の筋の位置を確認し、作用を確認する。
3回目	大腿後側の筋の位置を確認し、作用を確認する。
4回目	大腿後側の筋の位置を確認し、作用を確認する。
5回目	股関節周囲の構造、筋の位置を確認し、作用を確認する。
6回目	股関節周囲の構造、筋の位置を確認し、作用を確認する。
7回目	前半 総復習
8回目	大腿前面の筋の位置を確認し、作用を確認する。
9回目	大腿前面の筋の位置を確認し、作用を確認する。
10回目	前頸部・後頸部の筋の位置を確認し、作用を確認する。
11回目	背部の筋の位置を確認し、作用を確認する。
12回目	背部の筋の位置を確認し、作用を確認する。
13回目	上腕の筋の位置を確認し、作用を確認する。
14回目	総復習
15回目	確認テスト
準備学習 時間外学 習	解剖学の復習(筋の起始停止、支配神経、作用)の確認。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生へ のメッセ ージ	
【使用教科書・教材・参考書】 医歯薬出版社 東洋療法学校協会編 解剖学	